

「自由と理性」

人間には自由と理性というものを特に賦与されている。人間以外の萬物は靈も體も共に神から賜って生存し化育するが、彼等に賜った靈性には自由と理性はない。自由と理性を人間に與えたのは、これを活用して萬物の造化を助け、天地の経綸を補い奉り、自らも速やかに神に帰り、その魂を向上させて神靈と合一し、肉體ある神となることを神が企図されているによるのである。人以外の萬物は自由も理性もないから、ただなされるがままに何事も享受して、少しも神に逆らうことなく、大気を乱したり、宇宙の秩序を破ることをしない。然るに人間は自由と理性があるため、天意即ち惟神の道を破り、大気を乱しているのである。肉體的快感を神から許された範圍・限度以上に求め、味わいたいという欲望から、自由の力を利用して、天授の靈魂を肉體の奴隸に引き下ろし、本然の神に帰るべき求心的力、本来の心の使命を台無しにしているのである。

人は理性心だけは或る程度自由に向上させることが出来るが、心の向上は急速に勝手にはならない。換言すれば知識は勉強次第で取り込み得られるが、精神的の働きを我が物にするには、その精神的を意思に合致させ、それを愛し、実行する決意を固めることによって、その精神の働きは我が物となり、心に溶け込んで心の向上となるのである。